



生物多様性を配慮した、自然循環栽培の“庭”は、人と自然の新しい“つながり”が見えてくる 株式会社グリーン・ワイズが、 「つながる庭。モデルガーデン001」を6月3日(木)より開設

株式会社グリーン・ワイズ

空間緑化事業を展開する株式会社グリーン・ワイズ(本社:東京都多摩市山王下2-2-2/代表:田丸雄一/資本金:4千万円/代表電話:042-338-0002)は、環境への配慮や地域のコミュニティ形成を検討しているデベロッパーや商業施設、オフィス、集合住宅等を対象に「つながる庭。モデルガーデン001」を2010年6月3日より開設します。

「つながる庭。モデルガーデン001」について

株式会社グリーン・ワイズでは、都市の限られた空間に緑地を生み出す屋上・壁面緑化技術、生物多様性に配慮した緑地計画、化学農薬や化学肥料に頼らない植栽管理(IPM植栽管理)技術、地域コミュニティを活性化させるコンテンツ「グリーンアクティビティ」の開発等、緑地の持つ効果を高める独自のサービスを開発、提供してまいりました。これら当社が提供するサービスは、2008年本社緑地SEGES認証取得を契機として、調査設計から施工、管理、イベント企画運営を包括した「緑化マネジメントサービス」として統合されました。これにより各段階の技術とノウハウが相乗効果を発揮します。



「つながる庭。モデルガーデン001」

「つながる庭。モデルガーデン001」は、当社が提供する「緑化マネジメントサービス」を集約したモデルとなっています。周辺を含めた植生や生物の基礎調査を基に、生物多様性に配慮した設計及び施工を行い、IPM技術を駆使し有機JAS認証取得を目指した作付け計画、地域コミュニティ活性化に寄与するイベント運営や、社員や地域住民の環境教育を実践する場としての機能を踏まえた計画等を実践します。

当施設の最大の特徴は、五感体験型であるという点です。ただ眺めるだけでなく、心と身体全体で自然の魅力を楽しむ。このガーデンを訪れる人たちが、そんな実体験に共感し、感動を共有することで、コミュニティが生まれてくる。さらに、モデルガーデンのテーマである「つながる庭。」に象徴されるように、人と人だけでなく、人と自然との結びつきや関わりを、直接緑や生き物に触れることで実感する。そのことが、生物多様性の保全をはじめ、自然環境への配慮の仕方や課題解決に向けて、お仕着せからではなく、自らの理解に基づいた自律的な行動として取り組めるようになること、また、この体験を共有・共感した人の輪が広がることで、大きなムーブメントにつながることを期待しています。つまり、自然の叡智に学び、それを実生活に活かすための場づくりを通して、ここに訪れる人々と共に自然共生社会を創り上げていくことが、この施設の主眼です。

「つながる庭。モデルガーデン001」の主な特徴

IPM総合的病害虫管理技術

自然のチカラが植物を助ける

化学農薬で虫や菌類を駆除するのではなく、栽培環境の質を高め、害虫の天敵利用やコンパニオンプランツなどのいろいろな技術を組み合わせることで植物を元気にし、同時に環境への負荷も軽減します。

有機植栽管理の実践

有機のチカラを活かす

有機JAS基準に合わせて、野菜だけでなく草花や樹木も化学農薬や化学肥料を使わずに管理します。

有機JAS認定の取得

安心・安全な野菜づくり ※申請中

有機食品のJAS規格に適合した生産が行なわれていることを登録認定機関が検査し、その結果、認定された事業者のみが有機JASマークを表示することができます。

●リリース情報・写真素材のご提供に関するお問合せ先

株式会社グリーン・ワイズ
グリーンフォーラム担当:竹内
TEL: 042-338-0002(代表)
Mail: gw-otoiawase@greenwise.co.jp

社会的背景

今年、名古屋で開催されるCOP10をはじめ、企業等の環境や社会的責任に対する意識の高まりを反映して、さまざまな取り組みが展開されています。そうした中、新たに開発する緑地や企業が保有する緑地においても、生物多様性保全やヒートアイランド現象の緩和効果による環境貢献と、地域コミュニティの活性化による社会貢献が期待されています。

緑地の持つ機能は多面的に良い効果を発揮することが期待できますが、一方で設計や施工方法、管理方法などにより得られる効果はまったく異なります。緑の質をマネジメントして、地域特性や所有者の目的に合わせて効果を最適化、最大化することが、今、社会から求められています。

「緑化マネジメントサービス」のターゲット

- ・環境配慮をコンセプトとしたマンションのデベロッパー
- ・地域コミュニティの活力を商業施設の活性化につなげたい商業施設
- ・居住者間や地域住民とのコミュニティ形成を計りたいマンションデベロッパー
- ・高い安全性を求める高齢者施設、病院、保育園、幼稚園、学校
- ・環境(生物多様性)への配慮を検討している商業施設。
- ・環境(生物多様性)への配慮を検討している企業のオフィス・工場緑地
- ・社員間のコミュニケーションの活性化や新しい福利厚生を検討している企業
- ・高い品質を求めるハイクラスマンションの自治会
- ・環境を配慮した庭園を所有したい個人の高所得者



「つながる庭。モデルガーデン001」

●会社概要

社名:	株式会社グリーン・ワイズ (http://www.greenwise.co.jp/)
代表取締役:	田丸雄一
所在地:	東京都多摩市山王下2-2-2
TEL:	042-338-0002(代表)
FAX:	042-338-7881
創立:	1905年(明治38年)11月1日
会社設立:	1940年(昭和15年)12月1日 株式会社東光園設立 2002年(平成14年)1月1日 株式会社グリーン・ワイズに社名変更
資本金:	4千万円
従業員:	70名
農場:	東京都調布市深大寺北町1-20
営業職種:	屋外の緑化の企画・設計・施工 屋内の植栽の企画・デザイン・リース及び維持管理 演出用植栽の企画・デザイン・施工 テレビ・映画の撮影用植栽の企画・施工 インテリアグリーンのお店販売及び通信販売
ショップ:	フラワー＆グリーンショップ「sprout／スプラウト」 自然食レストラン「ASTANAGARDEN／アスタナガーデン」
関連会社:	有限会社コンセプトグリーン